授業科目名： 地誌概論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： ２単位	担当教員名：齊藤　正 担当形態：単独

実務内容 （実務家教員の場合）	
科　目	教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校　地理歴史）
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・地誌

「学位授与の方針」との関係

星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージヨン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。

A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。

B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。

C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。

D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。

F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業のテーマ及び到達目標

　系統地理学と並んで地理学を構成する二大分野の一つである地誌学の基本の理解を目指す。そのため、地誌学の方法論の基礎を修得し、世界の各地域の地誌の具体的な取り扱い例を理解する。

授業の概要

（１）地誌学の視点と方法論についての基本を学ぶ。

（２）世界のいくつかの地域の地誌を異なったアプローチから学習する。

（３）具体的な地域の学習により現代世界の抱える課題について理解する。

授業計画

第１回：地誌学の視点と方法

第２回：身近な地域の地誌　　《身近な地誌的アプローチ》

第３回：現代世界の地域構造と世界像　　《グローバル地誌的アプローチ》
第４回：グローバリゼーションと日本の地誌Ⅰ（文化景観と都市地域）《グローバル地誌的アプローチ
第５回：グローバリゼーションと日本の地誌Ⅱ（農業地域・工業地域）《グローバル地誌的アプローチ》
第６回：東南アジア地誌Ⅰ（風土と生活）　　《広域動態地誌的アプローチ》
第７回：東南アジア地誌Ⅱ（過去と現在）　　《広域動態地誌的アプローチ》
第８回：インド地誌Ⅰ（近代化と産業の発展）　　《テーマ重視地誌的アプローチ》
第９回：インド地誌Ⅱ（農村と都市の変化）　　《テーマ重視地誌的アプローチ》
第１０回：中東地誌Ⅰ（中東を理解するキーワード）　　《広域動態地誌的アプローチ》
第１１回：中東地誌Ⅱ（イスラームと共生社会）　　《広域動態地誌的アプローチ》
第１２回：ヨーロッパ地誌Ⅰ（多様な自然と農業）　　《広域動態地誌的アプローチ》
第１３回：ヨーロッパ地誌Ⅱ（地域統合と地域格差）　　《広域動態地誌的アプローチ》
第１４回：アメリカ合衆国地誌Ⅰ（多様な世界）　　《網羅累積地誌的アプローチ》
第１５回：アメリカ合衆国地誌Ⅱ（多民族とアメリカ的生活様式）《網羅累積地誌的アプローチ
定期試験：
＊スクーリングでは第１、２、６、７回を中心に行い、すべての内容を包括的に取り上げる。

教科書
矢ヶ崎典隆他　編著　(2020年)『地理学基礎シリーズ３：地誌学概論[第2版]』朝倉書店

参考文献
・高等学校で使用する教科用図書の地図帳
・辰巳　勝・辰巳眞知子　「図説　世界の地誌」　古今書院
・立川武蔵・安田喜憲監修「朝倉世界地理講座　全 15 巻」　朝倉書店
・水野一晴（2016年）　『人間の営みがわかる地理学入門』ベレ出版

学生に対する評価
レポート評価（２５%）、スクーリング評価（２５%）、科目修得試験（５０%）の割合で総合して評価する。